

【6月3日 パプアニューギニアから教育視察団 来校】



【2年生の授業の参観の様子】

回が2回目になるので、長尾小学校の子供たちにとって、国際理解教育の絶好の機会ととらえて有意義な1日になるように企画しました。

当日の朝礼では、パプアニューギニアの人口や位置などを確認するとともに、これからの国際社会に生きる自分たちにとって、まず、自国である日本を知り、日本を愛する気持ちを育てていくことが大切であること。そのために、1・2年生は長尾小学校を好きになり、地域の行事に積極的に参加する、3・4年生は、それに加えて、渋川市のことをしっかり知り、群馬県の他の市町村についても理解を深める、5・6年生は、さらに、群馬県の知識をもとに日本での群馬の果たす役割等を理解することが大切であることを伝えました。

給食時には、5・6年生が食べている食堂で、同じメニューの給食を食べていただきました。はじめにお箸にも挑戦しましたが、かなり苦戦していました。それでも、当日の日本食のメニューは気にいっていただき、おいしそうに食べる様子の写真とともに上毛新聞に掲載されました。

昼休みの時間には、全校の児童が体育館に集まって歓迎のセレモニーを行いました。児童会の子供が歓迎の言葉を言ったり、パプアニューギニアの国歌や歌、長尾小の校歌や国歌を歌ったりしました。最後に相互に記念品を交換してセレモニーを終了しました。

限られた時間の中での交流でしたが、1日を通して、それぞれの子供たちが日本のことやパプアニューギニアのことについて考える機会になったことと思います。パプアニューギニアの代表からは、「大きくなったらパプアニューギニアに来てください。そして、働いてみませんか」という話もありました。このような体験をした長尾小学校の子供たちの中からパプアニューギニア、そして、世界に貢献する人が出るのかもしれない。



【体育館での歓迎セレモニーの様子】

【6月18・19日 妙義青少年自然の家 5年生の宿泊体験学習】

6月18・19日に、5年生が妙義青少年自然の家で宿泊体験学習を行いました。

8時10分、二日分の荷物をつめた大きなバッグを持った53名の子供たちが朝礼台前に集合しました。欠席者もなく、二日間の活動に期待を持った子供たちの顔は生き生きとして、友達との会話もはずみです。出発式を終え、2台のバスに乗り込みました。今回は2台のバスの乗車定員が異なるため、学級ごとではなく、それぞれのバスに分かれてのりました。バスが渋川インターチェンジから関越自動車道に乗り、藤岡ジャンクションから上信道に入り、途中でサービスエリアにより、松井田妙義インターチェンジでおおりて、妙義青少年自然の家に着きました。

到着後、荷物をそれぞれの部屋に運び入れたあと、研修室で入所式を行いました。所長さんからは、自然の家での生活で「自主」「規律」「共同」「奉仕」「友愛」の五つの言葉をいつも心がけ、一人一人が集団のために活動してほしいとの話がありました。

入所式終了後は、午前中の活動、「竹とんぼ」作りに挑戦しました。自然の家の三木指導員から製作

の手順についての説明をいただいたあと、班に分かれて作り始めました。まず、羽の部分になる竹を磨いてバランスを整えます。サンドペーパーで磨いては、竹の軸を差し空き缶の上に置いてバランスを確認します。左右の重さが均等に近くなるとバランス良く床面と水平になって竹は止まります。次にその竹にアルミ箔を巻き付けアルコールランプで熱し両手で端をもってひねり、羽の角度をつけます。うまく羽に角度がついたら、模様をつけ、仕上げに軸をつけて完成です。子どもたちはできあがった竹とんぼを体育館の中で飛ばして、出来具合に満足していました。



昼食は食堂で食べ、少し休憩をした後、1時30分から予定どおりウォークラリーを開始しました。はじめに、ウォークラリーについての説明を聞きました。目標時間やコマ図（分かれ道や目印となる看板などを部分的に示した地図）の見方、班として協力することの大切さなどの話でした。説明の後、10班に分かれ、2班ずつ5分間隔でスタートしました。コース途中にはいくつかのチェックポイントが設定されていて、途中の質問等の答えを探しながら班の全員で協力して取り組みました。目標時間の50分を目指して10班の全員が完歩することができました。

夕食では、初めて妙義青少年自然の家の食事を食べました。食事係が準備した後に、あいさつをして楽しく食事をしました。

雨が心配されましたが、夕食後には雨もあがり、6時30分からキャンプファイヤーを行いました。キャンプファイヤーでは、妙義の山奥の仙人があらわれ、分火の儀式のあとフォークダンスをしておおいに盛り上がりました。

キャンプファイヤー終了後、入浴を済ませて就寝の準備を部屋ごとに協力して行いました。盛りだくさんの日程の1日目でしたが、決められた9時30分の消灯時間に全員が布団の中に入ることができました。

2日目は6時に起床すると休む暇なく、寝具の片付け、朝の集い、各学級ごとの記念撮影、朝食、部屋・荷物の整理、清掃に取り組みました。

まとめた荷物を持って、体育館に集合し、はじめに全員で、道具の準備をして火おこし体験です。まいぎりという道具のハンドルに両手をあて、まっすぐ上下に動かします。芯（しん）がきれいにまわるように姿勢やうでの使い方を工夫し、何回も何回も回転させます。しばらく芯（しん）を回転させると、板とのまさつで煙が出てきます。ここからはタイミングです！黒い粉が出てきて、中に赤い火だねが見えたら、ひもをほぐしたものに火だねをうつします。息を吹きかけて風を送ります。すこしずつ内側から赤くなってきて、着火。成功です。コツをつかむまではなかなかうまくいきませんが、繰り返すうちに上手に何度も火を起こしている班もありました。全部の班が火起こしを体験した後、鍋を使ってご飯を炊きました。火の強さ、時間などを職員の方から聞きながら上手に炊きあげることができました。



食堂で作っていただいたカレーをかけ、みんなで楽しくおいしくいただきました。

食後は、係ごとに分担をして片付け、1時30分からの退所式の後、2台のバスで長尾小学校に戻ってきました。1泊2日の充実した宿泊体験学習も無事終了することができました。

今回の宿泊体験学習の活動の中で、班の全員が地図を見ながら歩く姿、みんなで火起こしや係の活動に真剣に取り組む姿など子供たちの成長した様子を見ることができました。ひとまわり大きくなった5年生の子供たちが、長尾小学校の中心となって、いろいろな場面で活躍してくれると感じました。

【今年からスクールカウンセラー 柳澤一子先生にお世話になっています】

今年4月24日から、スクールカウンセラーの柳澤一子先生に、隔週の水曜日にお世話になっております。

すでに、柳澤先生が出してくださっている「スクールカウンセラーだより」でご承知のことと思いますが、子育てで心配なことや気がかりなことについて気軽に相談ができますので、担任を通して相談を申し込んでください。